

- ・日 時：平成 25 年 2 月 4 日（月） 14：00～17：00
- ・場 所：JGS 会館
- ・出席者：國生，赤木，小椋，齋藤，太田，高橋，坂上，重村，佐々木，清木（西村代理），森川，沓澤，青木(事務局)
- ・欠席者：佐伯，石橋，内藤，石原，菊池，松島，後藤，伊藤，並河，若井，橘，竹山

1. 前回議事録の確認

- ・平成 24 年度第 4 回運営委員会議事録（12/17） 【別紙－1】

→ 確認した.

2. 最近のスケジュール

- ・10 周年記念事業準備委員会：平成 25 年 1 月 30 日（水）
- ・第 2 回評議員会：平成 25 年 3 月 4 日（月） 【別紙－2】
特別講演会：青山和史氏（鹿島建設）「(仮) 震災の廃棄物処理について」
- ・支部総会：平成 25 年 4 月 22 日（月） 【別紙－3】
特別講演会：〇〇〇〇氏（大成建設，未定）「(仮) ボスポラスのトンネルについて」

→ 確認した.

3. 本部からの連絡・検討依頼事項

- (1) 名誉会員・外国人名誉会員推薦について 【別紙－4】

前郁夫氏（元産安研），Malcolm Bolton 氏（ケンブリッジ大）を推薦した。

小島圭二氏（東大名誉教授）については，推薦書を書いていただけの方がいなかったの
で，来年度に推薦することに

→ 確認した.

- (2) 平成 24 年度地盤工学貢献賞候補推薦書の提出について

堀江宏保氏（元港研）を推薦した。

→ 確認した.

- (3) 平成 25 年度支部「事業計画案（まえぶん、本文）・正味財産増減予算案」提出について

【別紙－5】

→ 高橋が原案を作成して，後日メール審議を行うことになった.

- (4) 「地盤工学会誌」平成 25 年度読者モニター推薦について 【別紙－6】

→ 学生については，日大，東京理科大，宇都宮大から 1 名ずつ，後任を推薦していただくことにした.

→ 2 年目の方には，後任を推薦していただき，公募もする（メーリングリスト活用).

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 平成 24 年度第 2 回評議員会開催について

- (2) 平成 25 年度支部総会開催について

- (3) 平成 25 年度評議員の人事について 【別紙－7】

→ 千葉県グループでは，評議員に県グループでの活動に関与していただいている。

現在評議員の畑中先生から，峰岸先生（日大）をお願いしたいという意向がある。

→ 県グループの運営に関係するのであれば，県グループの意向も考慮して，後任の人選を行う。

→ 今までお願いしてきたものを，本人の意向を確認せず，退任してもらうというのは，
いかがなものか。現評議員や県 G の意向も確認した方が良いのではないか。

→ 資料 7 に挙げた方々を案として提示する。案に対して意見等がある場合は，2/13 までに連絡のこと。

- (4) 支部発表会開催日について 【別紙－8】

→ 確認した.

- (5) 10 周年記念事業について 【別紙－9】

→ ジオ関東との連動は考えていないのか。

→ 特に意識していない。ジオ関東内で開催すべきものについては，特別セッションを活用できる。

- (6) 関東支部における表彰について 【別紙－10】
 → 日程については了承した。表彰対象期間は、来年度については10年（関東支部設立から）とし、2～3年は、この特別措置をとる。その後は、本部の表彰期間に合わせる。
- (7) 平成24年度予算執行状況について（平成24年12月末現在） 【別紙－11】
 → 当初1千万円を超える赤字を予定していたが、多少の赤字程度になりそうである。
 → 予定されている国際講演会は「公3」に入れる（現在0なので）。
5. 開催結果、進捗状況の報告
- (1) 埼玉県 平成24年度「技術講演会」 【別紙－12】
 (2) 第8回地盤工学会栃木県グループ講演会 地盤を学ぶ「いま地盤技術者に求められること」 【別紙－13】
6. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項
- (1) 会員サービス G 【別紙－14】
 → 学生幹事を入れることには問題ない。通常の幹事と同じ扱い。
 → 10周年事業の講演会の会費を無料にすることについては、他のGで必要な事業費を見て判断する。
- (2) 茨城県 G 【別紙－15】
 (3) 栃木県 G 【別紙－15】
 → 10周年については、p73～74 参照。
- (4) 群馬県 G 【別紙－16】
 (5) 山梨県 G 【別紙－17】
 (6) 千葉県 G 【別紙－17】
 → 10周年記念事業については、習志野市に内諾を得ており、畑中先生名で協力依頼を出す予定。
 → 一般市民向けの事業なので、お土産を持たせたい。
 → ドクターモグや、これから作る10周年記念グッズ（クリアファイル）などを配れると思う。
- (7) 埼玉県 G 【別紙－18】
 (8) 神奈川県 G 【別紙－19】
 → 来年度予算の現場見学会は52万円 → 2万円。
 → 小学校の社会見学・図工を兼ねた現場見学会＋絵画コンクールを考えているが、公立小学校では、既に来年度の予定を決め始めているので難しい。関東学院など、私立にするかもしれない。
- (9) 研究委員会 G 【別紙－20】
 → 新規テーマ①については、拡大して（特定の工法に特化しないで）行う場合、委員長や幹事団の候補となる人を見つけるのが難しい（農学部の先生はどうか？例えば東大の中野先生等、という情報提供もあった）。提案者に問い合わせ中。
 → 新規テーマ②については、どのような成果が得られるのか見えないので、はっきりさせる必要がある。
 → 新規テーマ③の提案者は、「江戸期以降の～委員会」の委員であり、既存の同委員会で対応可能か確認してもらっている。
 → 第三台場については、東京都建設局が過去に詳細に調査しているはずであるとの情報提供があった。
 → 研究委員会グループの判断案を了承。
- (10) 支部発表会 G 【別紙－21】
 → 論文締め切りを延ばす努力は可能かどうか（開催日が今年度とほぼ同じになったため）。
- (11) 企画総務 G 【別紙－22】
 → 菊池幹事長の後任は、小峰先生（茨城大）を予定。関幹事の後任は久保正顕氏（清水建設）。
7. 次年度予算と支部活動について 【別添資料】
 → 表彰委員会経費、管理費の一部を見直す。また、10周年の予算未提出のGについては、再度確認。
 → 健全化のため、繰り越しを圧縮する方向で、来年度も赤字予算とする。
 → 特定事業費として積み立てる（基金化、20周年事業など）、研究助成等も考えられる。

→ 入る方を減らすということも考えられる（以上、出た意見）。

8. その他

(1) 退会届

岡部シビルエンジニアリング・山梨大学工学部土木環境工学科地盤工学研究室
テルナイト

【別紙-23】

(2) 次回運営委員会

平成 25 年 3 月 日 14:00~17:00

(昨年：3/22, 企画総務 G 幹事会：平成 25 年 3 月 8 日)

→ 3月25日(月) 14時~17時を予定

(3) ロゴマーク

→ A・B案で.

(4) 「関東の地盤」について

- ・売れ残った「関東の地盤」が丸善から帰ってきた（商品として流通できない状態）
→ 廃棄にしてよいか？

→ 廃棄にしてよい.

- ・本を売り切ったら執筆料を払うことになっているが、売り切りの判断をする際に、
総数から上記の廃棄数を差引いてよいか？

→ 問題ない.

(6) 会員からの質問・意見に対して回答する仕組みについて

- ・会員からの声を聞く・それに回答する仕組みを作れないか？また、アンケート結果がどのよう
に活用されているのかが不明である.

→ 現時点では総会しかないが、会員サービスグループで検討してみることも考えられる。
アンケートの件については、アンケートを取る際に活用方法について明記するのが良い
かもしれない。